

新学習指導要領
福井県教育振興計画
越前市教育振興ビジョン
学校における働き方改革
緊急提言

【校訓】 生命かがやく子 ~自ら学び 心豊かで 健康な子~



《学校教育目標》 共生を目指した温かい人間関係作り

—南小学校に関わるすべての人(児童・教職員・保護者・地域住民)たちが、思いやりと話し合いによってよりよい関係を見つけることができる。—

【めざす児童像】	【めざす教師像】	【めざす学校像】
① 自分の考えをわかりやすく伝えられる子	① 児童やクラスが大好きな教師	① 学ぶ喜びが味わえる学校
② 思いやりとたくましさを持つ子	② わかる授業を求め続ける教師	② 豊かな心が育つ学校
③ 進んで挑戦し最後までやり通せる子	③ 柔軟な発想のできる教師	③ 地域が誇りに思える学校

【重点目標】

《A 確かな学び》
○ 「考える」時間から深みのある学習
○ 「めあて」～「振り返り」のある授業
◎ 読書習慣から主体的な読みの育成

《B 温かい人間関係》
○ いじめのない人間関係
◎ 一人ひとりの違いを認める優しさ
○ 児童がやりがいを感じる活動

《C 豊かな心と強い体》
◎ チームで特別支援教育の充実
○ 意欲的な体力づくり
○ 健康のための生活リズム・食生活

《D 家庭・地域との連携》
◎ 地域と関わり合える学校づくり
○ 迅速な情報の発信と受信
○ 新しい形の行事への協力

【具体的取組】

① 授業を公開することで、主体的・対話的で深い学びに到達できる授業を追究し、学期に1回(教)実践する。
② 基礎基本が定着する授業形態を伝承し、クラス格差を生じさせない校内OJTの機会を年間5回(学)設ける。
③ 「読書の町宣言」を活かし、読ませたい本・読みたい本が近くにある読書環境を整え、児童の読書満足度を80%(児)にする。

① いじめの根絶をめざすため、児童を観察しみんなで情報を共有化し、保護者の協力も得ながら対応できるよう、未然防止・初期対応研修を年間3回(学)行う。
② 1年かけて、一人ひとりのよさを互いに認め合える学級・学校に育て、クラス満足度を90%(児・教)にする。
③ 児童がすべての企画運営をする集会や活動を、積極的に取り入れ年間3回(学)実施する。

① 外国人児童・特別支援学級児童と交流し、尊重し合える心を育て、居心地のいい学校と90%(児・教)が思えるように努める。
② 進んで体力づくりに取り組めるような業間や放課後活動、さらには指導の共通化をはかり、運動好きを80%(児)育てる。
③ 基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯・ノーゲームデー・目と歯の健康)を80%(児)の児童に確立する。
④ 命の大切さを伝える道徳教育を推進し、100%(児)の児童が命を尊重できるようにする。

① 地域の人たちと触れ合う活動を年間3回(学)計画的に行う。
② お便り・HP・緊急メールで情報を発信し、確実に受信してもらえるよう工夫することで、情報伝達満足度(保)80%にする。
③ PTA、家庭・地域・学校協議会と協働し、教職員の働き方改革を推進していき、働きやすさ満足度(教)80%の職場にする。
④ SNSによるトラブルの未然防止のために、ネットモラルの教育を家庭にも推進し、70%(保)の家庭で受け入れてもらえるようにする。

※数値の対象者=(教)教職員,(児)児童,(学)学年・学校,(保)保護者

本年度の研究テーマ『互いに認め合い、考えや思いを伝え合うことができる児童の育成 ~「聴く」力を高める授業づくり~』

